

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
経営学B	企業と社会の関係について学ぶ	谷川 寿郎	1 年次後期
講義の目的	経営学の基礎的な概念や理論を理解し、説明できることを前提にして、企業と社会との関係について考察する力を身につけることがこの講義の目的です。		
到達目標	経営学の基礎的な概念や理論を理解し、習得した概念や理論を基礎として、様々な社会問題を解決しようとする力を身につけることを到達目標とします。		
内容	企業と社会との関係を考察し、様々な社会問題に関心を持ち、解決しようとする力を身につけられるように学んでいきます。		
講義スケジュール	第1講	[講義概要とオリエンテーション] 授業内容と進め方などについて説明。	
	第2講	[企業と社会の関係①] ステークホルダーについて学ぶ。	
	第3講	[企業と社会の関係②] 消費者（顧客）との関係について学ぶ。	
	第4講	[企業と社会の関係③] 投資家との関係について学ぶ。	
	第5講	[企業と社会の関係④] 従業員（社員）との関係について学ぶ。	
	第6講	[企業と社会の関係⑤] 地域社会との関係について学ぶ。	
	第7講	[企業倫理] 企業倫理について学ぶ。	
	第8講	[企業と環境①] 企業の社会的責任について学ぶ。	
	第9講	[企業と環境②] 社会的費用あるいは外部不経済という問題について考える。	
	第10講	[企業と環境③] ケース・スタディ、楽器製造メーカーにおける環境問題について考える。	
	第11講	[企業と環境④] 自然を守る、その方法や基準について考える。	
	第12講	[日本的経営の歴史的考察①] 高度成長期の経営について学ぶ。	
	第13講	[日本的経営の歴史的考察②] 高度成長期から成熟期の経営について学ぶ。	
	第14講	[日本的経営の歴史的考察③] バブル崩壊と失われた時代の経営について学ぶ。	
	第15講	まとめと総復習	
方法指導	講義はパワーポイントを用い進めます。双方向のコミュニケーションにより授業を運営します。講義中に意見等を求めるので積極的な発言を希望します。		
授業外学習	授業前の事前学習としてテーマについて調べておいてください。事後学習としてテーマについて説明ができるように復習してください。		
成績評価方法	本試験（筆記試験）（60%）、平常点（発表・発言）40%		
ステキ	特になし。		
書籍参考	亀川雅人・鈴木秀一 『入門経営学』（第3版）新世社、2015年。 亀川雅人・高岡美佳・山中伸彦 『入門現代企業論』新世社、2004年		
事項記			